

8) グローバリゼーション部門

森 悠一郎（准教授・法哲学）

2023 年度の研究活動およびそのアウトプットについて。

2023 年度には法哲学の正義論の領域において、積極的差別是正措置 (affirmative action) の正当化論についての研究に取り組んだ。とりわけ具体的な問題として、アメリカにおけるワクチンや治療薬における人種に基づく優遇措置に関する法的・道徳的論争に焦点を当て、希少な医療資源配分における積極的差別是正措置の擁護論と反対論について考察した（「その他」で後述するように、8 月から在外研究を行っており、フルブライト奨学金「A Legal-philosophical Inquiry into Affirmative Action in Health Care Allocation」の研究の一環として取り組んできた）。

それと並行して本年度は、移民の正義論における関係的平等主義の理論的可能性についての研究にも取り組んだ（村田学術振興財団助成金「移民の正義論における関係的平等論の可能性」の研究である）。

これらの研究活動の成果は、後述の論文・学会発表の通りである。

その他（教育活動ほか）

通常のエデュケーション活動としては、学部向け「法哲学」講義、研究大学院・法科大学院向け「現代法哲学」、全学教育科目「英語演習」を担当した。

また、8 月から研究期間を取得して、ハーバード大学ロースクール・東アジア法研究プログラムに客員研究員として籍を置き、アメリカで在外研究に従事している。

論文

論文標題	誌名	発行年	頁
Making Sense of Race-Based Affirmative Action in Allocating Scarce Medical Resources	Res Philosophica	2024	－
The Diversity of Objection to Racial Discrimination in Immigration	Justice, Community and Freedom: IVR World Congress Proceedings 2022	2023	503-510

学会発表

発表課題	学会等名	年月日	発表場所
「分配的平等主義」対「関係的平等主義」論争の現代的意義 —— 関係的平等主義は「再分配の正義」とどう向き合うべきか？	日本法哲学会・学術大会	2023 年 11 月 5 日	同志社大学 今出川キャンパス
Freedom of Movement for All? Toward a More Individualist Relational Equality	2023 IVR Japan International Conference	2023 年 9 月 17 日	千葉大学西 千葉キャンパス

図書

書名	出版社	発行年	単／共
Encyclopedia of the Philosophy of Law and Social Philosophy	Springer	2023	共著
リーガル・ラディカリズムー法の限界を根源から問う	有斐閣	2023	共著